

日本エム・イー学会平成16年度第3回理事会議事録

日時：平成16年11月4日(木) 15:00～19:00

会場：愛媛県松山市 旅館ふなや

<出席者>

会長：堀 正二

副会長：菊地 眞、辻岡克彦

理事：赤澤堅造、石原 謙、稲田 紘、上野照剛、佐久間一郎、佐藤俊輔、砂川賢二、仁田新一、
林紘三郎、山越憲一、鎗田勝、伊良皆啓治(上野照剛理事の代理)

監事：星宮 望

国際誌：安藤譲二

生体医工学：山本克之

支部長：栗城真也(北海道)、寺本滋(中国・四国)

幹事：近藤寛也、守本祐司

事務局：

<欠席者>

理事：岡田正彦、梶谷文彦、神谷瞭、土肥健純

監事：北畠 顕

CE： 小野哲章

BME：楠岡英雄

支部長：佐藤正明(東北)、浜田良機(甲信越)、山内一信(東海)、佐々木和男(北陸)、村上輝夫(九州)

1. 理事会成立が確認された。
2. 平成16年度第2回理事会議事録(16-3-2)が承認された。
3. 会員：退会8名、入会希望者5名であった。-学会事務センター破綻に伴い、入会金の払い込み状況が未確認であることより、入会金の納入が確認され次第、正式に認めることで承認された(16-3-3)。
4. 専門別研究会協議会の件： 佐藤理事より平成16年度専門別研究会の申請状況が説明され(カテゴリーA：3、同B：17、計20研究会) 活動資金を早急に配分する予定であることが報告された(追加資料 平成16年度専門別研究会)。
5. 第2回夏の学校： 佐藤理事より第2回生体医工学サマースクール開催状況の説明があった。参加者に好評であったことより、次年度開催の申し出があり、審議の結果、了承された(追加資料 第2回生体医工学サマースクール開催報告書)。

6. 理事監事および評議員（社員）選挙規定改定： 赤澤理事より、理事監事および評議員選挙規定第6条の改正およびそれに伴う同7,8条の変更につき提案があった。提案の骨子は、理事および監事候補者の推薦は評議員のみならず、理事及び監事も行えるようにしたい、ということであった。審議の結果、文部科学省で審議中の定款が承認されるまでは、赤澤理事の改正要望のとおり現選挙規定を一時的に変更した上で履行し、定款承認以降は、選挙規定を再度検討していくということで承認された（追加資料 理事会（11月4日）資料 No. 11-4-規約 理事・監事および評議員選挙規程）。
7. 委員案承認及び役員選挙日程の件： 佐久間理事より、平成16年度選挙管理委員ならびに選挙実施スケジュールの提案があり承認された（16-3-10）。
8. 生体医工学シンポジウム2004： 赤澤理事より、生体医工学シンポジウム2004の開催状況につき概要説明があった。運営状況は良好であり、参加者128名で、演題91件（うち、生体医工学への論文投稿は66件）が集まったことが報告された。
9. 生体医工学シンポジウム2005・（仮称）学術委員会発足： 赤澤理事より、生体医工学シンポジウム2005開催の提案がなされた。審議の結果、本シンポジウムの主催は、関西支部が行うことで承認された。また、本シンポジウム終了後、今後の同シンポジウム開催のあり方ならびに主催を支部にするか学会にするか等について審議していくということで承認された（追加資料 理事会（11月4日）資料 No. 11-4-関西支部）。
10. 学会HPの運用： 赤澤理事より、学会HPの運用について提案があった。WEB運営・管理に関してハードウェア面ではNECに委託し、コンテンツ管理は広報委員会で行うことで承認された追加資料 理事会（11月4日）資料 No. 11-4-広報委員会）。
11. 平成16年度選奨各賞選定委員会委員案の件： 仁田理事より、選奨各賞選定委員会委員案の提案があり、承認された（16-3-11-1 追加資料 平成16年度日本エム・イー学会荻野賞選定委員会委員案）。
12. 第26回第2種ME技術実力検定試験実施報告および合格者承認の件： 稲田理事より、第26回第2種ME技術実力検定試験実施状況につき報告があった。今回より岡山会場が試験場として追加され、受験総数は4183名に達し、合格率は42.5%であったことなどが説明された。また合格者1658名が合格認定された（追加資料 第26回第2種ME技術実力検定試験報告書）。
13. ME技術教育委員会における今後の活動に関する報告・計画・活動方針： 稲田理事より、ME技術教育委員会における学会事務センター破綻後の活動に関する報告がなされた。本郷に事務所を借りME技術教育委員約10名で主業務を行い、一部の業務をCEネットワークジャパンに委託したことなどが報告され、承認された。また、業務簡素化のため、合格認定通知書の押印を「会長印」から「ME技術教育委員会印」に変更することが提案されたが、審議の結果、印環登録されていない会長印をME技術委員会に恒久的に貸し出すということで承認された。さらに、ME技術実力検定試験制度25周年記念講演会についての紹介（追加資料 ME技術実力検定試験制度25周年記念講演会プログラム 追加資料 ME技術実力検定試験制度25周年記念講演会・懇親会開催の

御案内)ならびに ME 技術教育委員会の URL が立ち上げられたことが報告された(追加資料 ME 技術教育委員会 URL の画面コピー)。

14. 学会名称変更手続の件： 山越理事より、2004年6月4日に学会名称変更申請を文部科学省に提出したことが報告され、認可につき現在同省で審議中であることが報告された。
15. 第43回 ME 学会大会開催報告： 山越理事より、第43回 ME 学会大会開催の状況について説明があった。大会の概要が、ME 学会誌で紹介され(追加資料 第43回日本エム・イー学会大会報告) また、IFMBE news(# 68)にも掲載された(追加資料 The 43rd Annual Conference of the Japanese Society for Medical and Biological Engineering)ことが報告された。同大会の決算報告に関しては、県や市から国際会議開催団体に対しての補助金が下りたことの紹介があった(第43回日本エム・イー学会大会 決算報告書)。
16. 第44回 ME 学会大会準備状況報告： 上野理事より、第44回 ME 学会大会準備状況について説明があった。一般演題はすべてポスターセッションで、昼食時に実施されることなどが報告された。また、総会を大会初日夕刻に行うことの可否について審議依頼があった。審議の結果、他のセッションと並列で行わないこと、ならびに代議員・会員が参加しやすい時間帯に設定することが理事会の意志として勧告された(追加資料 第44回日本生体医工学会(旧日本エム・イー学会)大会概要、追加資料 第44回日本生体医工学会ポスターコピー、追加資料 第44回日本生体医工学会日程案)。また、サテライト企画として、コンピュータ外科に関する国際ワークショップが開催されることが紹介された(追加資料 サテライトワークショップ企画)。
17. 第18回秋期大会開催状況： 石原理事より、第18回秋期大会開催の状況説明がなされた。事前登録制度を試みたところ、300名を超える登録があり、その結果、入会希望者を把握することができ、新規会員の獲得に有効でありそうなことが紹介された。
18. APCMBE2005 の準備状況： 辻岡理事より、APCMBE2005 の準備状況につき概要説明があった。特別講演3題、シンポジウム4題、招待講演6題の予定であることなどが報告された。
19. 『バイオマテリアル』韓国語版「翻訳出版に関する覚書き」締結： 辻岡理事より、標記につき報告があった。書籍定価の7%を印税として日本円で支払ってもらうことで締結されたことが報告された。
20. BME と生体医工学の合本及び生体医工学投稿規定の改定について： 山本生体医工学特別委員長より、以下の提案がなされ承認された： 発刊は、生体医工学に統一し、BME を廃刊する、当面は年4回発刊、今後の編集委員会の体制については合同編集委員会で検討する。これとは別に、投稿規定に関して現行の投稿資格「共著者を含め全員が会員であること」の廃止が提案された。審議の結果、第一著者が ME 学会会員でない場合、投稿論文が掲載受諾された時点で、新規に会員登録することが義務化された。なお、第一著者以外の著者に関する規定は、編集委員会で検討していくことで承認された(追加資料 第3回理事会資料(出版関係))。
21. 今後の理事会開催予定の件： 佐久間理事より今後の理事会開催予定につき提案され承認された。(16-3-21)

2.2. その他：

「医科器械史研究賞」候補者推薦につき資料が回覧された。

マイクロマシン連合「第19回運営協議会」協賛学会一覧が回覧された。

上野理事より、MEフォーラム2005が2005年1月24(月)に開催される旨の紹介があった。堀会長より、日本学術会議会員候補者に関する情報提供についての説明があり(追加資料 日本学術会議会員候補者に関する情報提供について)堀会長、上野理事ならびに総務で候補者を推薦し、各理事に通知するという事で承認された。

第45回生体医工学学会大会長として砂川理事が推挙され、承認された。

以下、学会事務センター破綻に伴う諸問題について

2.3. 暫定連絡先設置などについて： 堀会長から、以下の項目につき報告・説明があった(16-3-26-2)： 学会関連の出納業務を暫定的に香山土居会計事務所に委託、 鎗田理事が監査遂行、 エム・イー学会負債状況、 保管されていたME学会関連資料の整理・処理、 ユーティリティセンターの連鎖破綻に伴う保管書籍の吐き出しに関する処理、 学会事務センター業務の引継ぎリスト(16-3-26-1)入手。また、公益法人等調査票(16-3-24)を作成し、提出したことも併せて報告された。

2.4. 財務上の問題について： 鎗田理事より、財務状況の説明がなされた。ME学会の損金がゼロであること、現在のキャッシュフローが約500万円であることなどが報告された。学会事務センター破綻に伴う処理に起因する出費(監査費用、弁護士委託費用、会計事務所委託費用等)のため、期末収支の見通しについては予測不可能な状況であることが説明された。また、学会費納入督促業務などの各種費用請求業務が停止している状況を早急に打開する必要があることや、文部科学省の勧告基準を超えている内部留保への対策を検討する必要性があることなども述べられた(追加資料平成16年度第3回理事会財務関係中間報告資料)。これらを受けて堀会長は、財務に関するワーキングチームを結成し、迅速に対応策を検討していくことを提案された。同案は直ちに承認され、チームメンバーとして4名の理事(鎗田、砂川、稲田、佐久間)が推挙され承認された。

2.5. 現状の懸案課題と業務依頼先決定について： 堀会長より、学会事務業務を早急に委託する必要性が述べられた。業務委託会社5社から提出された見積書(16-3-26-3、見積書(株式会社コネット作成))に基づき、業務依頼先につき審議され、結果、とりあえず単年度分の業務を学会支援機構に委託することで承認された。

(配布資料)

16-3-1	平成16年度第3回理事会議題
16-3-2	平成16年度第2回理事会議事録(案)
16-3-3	平成16年度第5回理事会入退会審査対象者
16-3-10	平成16年度選挙管理委員(案)並びに選挙実施スケジュール(案)
16-3-11-1	論文賞・坂本賞選定委員会委員
16-3-21	平成16年度理事会日程予定
16-3-26-1	学会業務資料

1 6 - 3 - 2 6 - 2	学会業務懸案事項
1 6 - 3 - 2 6 - 3	事務局依託費用見積もり
1 6 - 3 - 2 6 - 4	公益法人調査票
追加資料	平成 16 年度専門別研究会
追加資料	第 2 回生体医工学サマースクール開催報告書
追加資料	理事会 (11 月 4 日) 資料 No. 11-4-規約
追加資料	理事・監事および評議員選挙規程
追加資料	理事会 (11 月 4 日) 資料 No. 11-4-関西支部
追加資料	理事会 (11 月 4 日) 資料 No. 11-4-広報委員会
追加資料	平成 1 6 年度日本エム・イー学会荻野賞選定委員会委員(案)
追加資料	第 2 6 回第 2 種 ME 技術実力検定試験報告書
追加資料	ME 技術実力検定試験制度 2 5 周年記念講演会プログラム、
追加資料	ME 技術実力検定試験制度 2 5 周年記念講演会・懇親会開催の御案内、
追加資料	ME 技術教育委員会 URL の画面コピー
追加資料	第 4 3 回日本エム・イー学会大会報告
追加資料	The 43 rd Annual Conference of the Japanese Society for Medical and Biological Engineering
追加資料	第 4 3 回日本エム・イー学会大会 決算報告書
追加資料	第 4 4 回日本生体医工学会 (旧日本エム・イー学会) 大会概要
追加資料	第 4 4 回日本生体医工学会ポスターコピー
追加資料	第 4 4 回日本生体医工学会日程案
追加資料	サテライトワークショップ企画
追加資料	第 3 回理事会資料(出版関係)
追加資料	日本学会議会員候補者に関する情報提供について
追加資料	平成 1 6 年度第 3 回理事会財務関係中間報告資料
追加資料	見積書 (株式会社コネット作成)